

桂浜たより

第14号

桂浜を守り育てる会—桂浜水族館応援団— 会報



桂浜初日の出

2023年1月1日 7:13 撮影(土佐龍将)

ごあいさつ

明けましておめでとうございます。
新しい桂浜の幕開けだね。
新しい公園管理者も決まり、「桂浜 海のテラス」
のグランドオープンも間近い。
「らんまん」のNHK放映や、観光博覧会
「牧野博士の新休日～らんまんの舞台・高知」の
開催も もうすぐだ。
「りょうま」も「ハマスイ」も加えて高知観光、
桂浜観光の新しい景色を非常に期待しています。
ワッショイ!ワッショイ!
フレー フレー高知! フレーフレー桂浜!



ハマスイの切り札魚アカメ
(丸林学芸員 作)

今年2023年は卯年
ウサギのお目目は赤い。赤いお目目はアカメ。

令和5年 元旦

桂浜を守り育てる会 代表 ながくに まさひこ

観光博覧会「牧野博士の新休日」で、高知の魅力を全国に発信



高知県知事 濱田 省司

昨年2月、本県の観光振興にとって大変うれしいニュースが飛び込んでまいりました。

本県出身の世界的な植物学者、牧野富太郎博士が主人公のモデルとなる、連続テレビ小説「らんまん」が令和5年の春から放映されることが決定したのです。

主演の神木隆之介さん、ヒロインの浜辺美波さんをはじめ、高知編では広末涼子さん、島崎和歌子さん、中村里帆さんら本県の出身者や人気の若手俳優らが起用されています。昨年10月には県内ロケも行われたことから、県民の皆さんの関心が日に日に高まっているこ

とが感じられますし、私も、大変楽しみにしています。

この放送を県観光の振興に最大限に生かすとともに、ひたすら草花を愛し続けた牧野博士の精神や功績を後世に引き継いでいく取り組みを推進するため、本年3月25日から翌年3月31日まで、県内全域をフィールドとした観光博覧会「牧野博士の新休日～らんまんの舞台・高知～」を開催します。



高知県観光博覧会
らんまんの舞台・高知
**牧野博士の
新休日**
Dr. Makino's New Holiday in KOCHI

高知県観光博覧会
「牧野博士の新休日～らんまんの舞台・高知～」
プレ博覧会：令和5年2月4日（土）～令和5年3月19日（日）
博覧会：令和5年3月25日（土）～令和6年3月31日（日）



makinooxo
QRコード

この観光博覧会では、牧野植物園や牧野博士のふるさとである佐川町、足繁く通った越知町といった拠点エリア、さらに県内各地の牧野博士ゆかりの地や草花を体感できるフィールド、そして、歴史や文化、食といった魅力ある施設やスポットを周遊していただけるよう、施策を展開するとともに、全国に向けて情報発信を行ってまいります。



「高知県立牧野植物園」
(提供：高知県立牧野植物園)

そのような中、長年にわたって県観光の中心であり続け、変わらぬ人気を誇る桂浜にも、重要な拠点エリ

アの一つとして、多くの観光客の方が訪れるものと思います。

昨年から再整備が進み、半世紀を経て老朽化した施設がリノベーションされ、観光案内所、そして昨年10月プレオープンした飲食店や土産物店には近代的なデザインが採り入れられるなど、観光客はもちろん、県内の家族連れなども訪れる快適な空間に生まれ変わっています。

イベントスペースも新設されるなど、さらなる賑わいづくりの場としても大いに期待しており、3月のグランドオープンが楽しみです。



「桂浜 海のテラス」(提供：高知市)

そして、博覧会で目指す姿のひとつに、これまでの観光客層に加え、「女性や若者など新しいターゲット層を取り込み、高知ファンの厚みを増す」というものがあります。その点でも、桂浜は大変重要な拠点となります。昭和6年に開業した桂浜水族館は、今、若い方の中で人気が急上昇しており、ネット調査会社が実施する「全国人気水族館ランキング」で2年連続の1位に輝いています。生き物たちと飼育員が触れあう姿といった自然な日常の様子やお客さんの目の前で行われる餌やりの大迫力の様子が人気を博し、SNSでも話題となっています。



「桂浜水族館」 トドへの餌やり

そして、桂浜水族館では昨年6月、イベントショーの廃止を発表されました。全国的な廃止の傾向があるものの、大きな決断をされたものと拝察します。

牧野植物園で草花に触れ、桂浜で生き物に癒やされる。そうした高知ならではの観光メニューを提案していきたいと考えています。

また、牧野博士は、坂本龍馬が脱藩したおよそ1カ月後に誕生した、幕末を生きた方です。ドラマをきっかけに、改めて坂本龍馬や幕末という時代にも注目が集まり、桂浜の龍馬像や周辺の県立坂本龍馬記念館にも訪れていただくことで、自然だけではなく、高知の歴史の奥深さも感じていただけると期待しています。

観光分野においても、ここ3年間、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を大きく受けてきました。本年は、より多くの観光客の皆さんに高知県を訪れていただけるよう、県としても全力で取り組んでまいります。どうか皆さんのご協力をよろしくお願い申し上げます。

濱田省司 (はまだ せいじ) 履歴書

令和4年4月1日現在

高知県知事

1963 (昭和38) 年 1 月 四万十市生まれ (59歳)

1985 (昭和60) 年 3 月 東京大学法学部卒業

1985 (昭和60) 年 4 月 自治省 (現総務省) 入省

1985 (昭和60) 年 7 月 京都府庁 (地方課・財政課)

1988 (昭和63) 年 4 月 自治省財政局財政課

1991 (平成3) 年 3 月 外務省在サンフランシスコ
日本国総領事館 (副領事・領事)

1995 (平成7) 年 5 月 福岡県庁 (消防防災課長・財政課長)

1999 (平成11) 年 7 月 自治省財政局交付税課課長
補佐

2001 (平成13) 年 4 月 総務省自治財政局財政課財政
企画官

2003 (平成15) 年 4 月 島根県総務部長

2006 (平成18) 年 4 月 総務省消防庁国民保護・防
災部防災課国民保護室長

2007 (平成19) 年 4 月 同 自治財政局公営企業
課地域企業経営企画室長

2009 (平成21) 年 7 月 同 消防庁予防課長

2011 (平成23) 年 5 月 同 自治税務局都道府県
税課長

2013 (平成25) 年 4 月 同 自治税務局企画課長

2014 (平成26) 年 7 月 同 大臣官房参事官 (秘書
課担当)

2015 (平成27) 年 7 月 内閣府大臣官房審議官 (経済
社会システム担当)

2017 (平成29) 年 7 月 大阪府副知事

2019 (令和元) 年 7 月 総務省大臣官房総括審議官
(マイナンバー情報連携、政
策企画)

2019 (令和元) 年 8 月 総務省退職

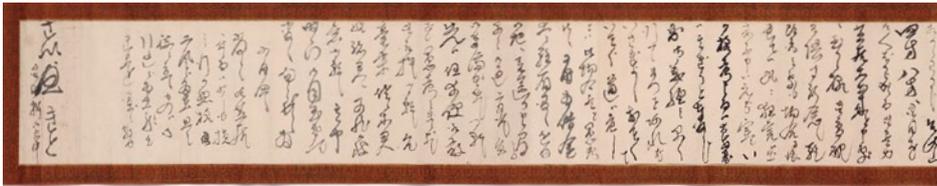
2019 (令和元) 年12月 高知県知事

「龍馬最後の帰郷

—坂本家と川島家・中城家—展に寄せて

龍馬晩年の慶応3（1867）年の頃、山内容堂（15代土佐藩主）は幕府制度の限界を悟っていた一方で、山内家が代々徳川家から受けた大恩に報いるため徳川家を救いたい、という思いを持っていました。そのため、奉還路線の土佐藩と、武力討幕路線の薩摩・長州藩とは、同じ倒幕とはいえ溝ができていました。その溝を埋めて、倒幕派勢力を一つにまとめようとしたのが龍馬でした。

龍馬は、大政奉還の半月ほど前の慶応3年9月に土佐に帰郷します。この帰郷のきっかけとなったのが慶応3年9月4日付の龍馬宛て盟友・木戸孝允の書簡です。木戸書簡には、土佐藩に対して倒幕への覚悟を促



慶応3年9月4日坂本龍馬宛て木戸孝允書簡
（高知県立歴史民俗資料館所蔵）

すため幕府との武力衝突もにらんだ筋書きを決めておかなければ倒幕全体が崩れてしまうと、そのために今後は、土佐藩の軍政を担当する乾退助の役割が重要という指摘が書き留められていました。これを受けて龍馬は、大政奉還後の幕府との戦争を想定して、長崎で土佐藩のために1000挺を超えるライフル銃を購入し、木戸書簡とを持参して土佐藩に届けるという大胆な行動に出ました。



エンフィールド銃（高知県立歴史民俗資料館所蔵）

帰郷の直前の慶応3年6月、京都に土佐藩と薩摩藩の重役が集まり、薩土盟約が結ばれました。この盟約は王政復古を最大の目的に、土佐藩が薩摩藩に対して大政奉還による倒幕を提案し、薩摩藩もこれに同意したものです。同意の条件には、土佐藩兵の派遣や、徳川慶喜（15代将軍）に対して将軍職辞職を要求することなどが含まれていました。

土佐藩参政の後藤象二郎は、翌7月に土佐に帰り、容堂公と山内豊範（16代土佐藩主）に薩土盟約を説明し、大政奉還で藩論をまとめ上げました。しかし、8月

高知県立坂本龍馬記念館
学芸課チーフ(学芸担当)
三浦 夏樹

になって容堂公は、幕府への恩義が深かったために、土佐藩兵の派遣や、将軍職の辞職要求を認めない方針を表明します。この方針を知った薩摩藩は、9月になって土佐藩を見限り、薩摩・長州藩に芸州藩を加えて、武力倒幕へと舵を切っていきます。

この折に龍馬は、土佐藩も加わる有力諸藩の連合体制がなければ倒幕がたいへん難しいことを憂慮していました。そこで、長崎においてオランダ商人からライフル銃1300挺を購入し、うち

1000挺を芸州藩の船である震天丸に積み込み土佐に運ぶという大勝負に挑みます。この時の様子を9月20日付の木戸宛ての龍馬書簡で、「土佐藩を救うために急いで

土佐に向かう」と書き留めています。それは、土佐藩が薩長芸といった雄藩に後れをとらないようにするという決意でもありました。

この帰郷の際に、龍馬はあえて芸州藩の船を使いました。なぜ、同藩の船を使ったのか。長崎で銃を買い込み、船に積み込む。長崎の港には土佐藩の船も常に出入りしていましたが、そもそも運送の仕事は海援隊の仕事ですので、持ち船の「横笛丸」を使ってもよかったです。木戸書簡には「倒幕派勢力の拡大に尽くして欲しい」ということも書かれていました。船に銃を積み込んで長崎の港を出航する場合に、通常は幕府の出先機関である長崎奉行所に届け出を行うことが必要ですので、長崎奉行所は、芸州藩船に銃が積まれて土佐に向かうことを知ることになります。それ故、当然に幕府は、薩長芸に加えて土佐藩も武装しているということに考えが及ぶに至ります。

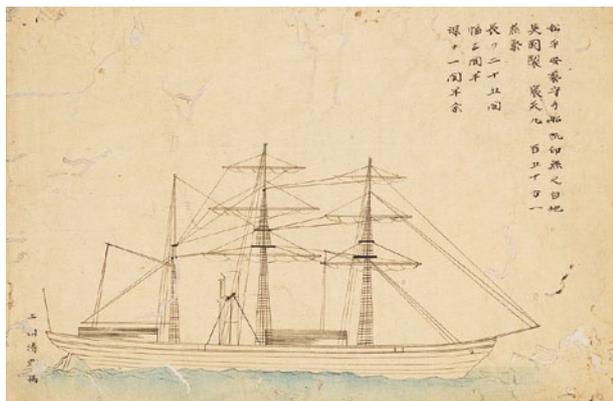
龍馬はいわば、この恣意的ともいえる情報漏洩を通じて、幕府が「薩長芸土」を一括りに捉えるように仕向けたのであろうと考えられます。加えて、土佐藩にしてみたら、龍馬が購入した銃を買い取らなかったとしても、既に幕府からは不審な目で、一括りの目で見られているはずなのでそれならば買った方がましと、ということにもなるわけです。このような秘策の連続で龍馬は、薩

長芸土らの揃い踏み、及び土佐藩の方針の転換、並びに幕府による政権奉還へと政局を大きく動かしたものと考えることができようかと思えます。

9月23日の朝、龍馬は震天丸で浦戸湾沖に到着し、袂石(たもといし)に停泊して、休息のため種崎の中城家に潜伏します。この中城家は、近所だった川島家とともに龍馬が若い頃から出入りした旧知の家で、坂本家を交えた三家は和歌を通じた深いつながりもありました。中城家と川島家は、それぞれ大廻船御船頭、廻船間屋でしたので、少年期の龍馬は、両家から世界や船についての教示を受け、憧れを抱いたと思われる。



袂石



芸州藩船・震天丸「明治維新当時諸藩艦船図」
(東京大学駒場図書館所蔵)

休息の後、龍馬は土佐藩の重役との面会を取り付け、木戸書簡を携え、自らも手紙を書き、薩長芸の出兵計画が差し迫るなどの中央の政情切迫を伝え、土佐藩の方針転換を迫ります。そしてその決定は、同重役らを通じて、容堂公と藩主はもとより、全ての土佐藩の重役を説得できるかにかかっていました。

土佐藩では、9月25日・26日に藩の実務者たちで検討を行い、いよいよ27日に、容堂公の屋敷・散田邸にて、容堂公と藩主の出席のもと、全ての重役が集められて、異例の大評定が行われました。評定の内容は伝わっていませんが、土佐藩は龍馬が持ち帰ったライフル銃の買い上げを決め、龍馬には褒美として役所から50両が下されたのでした。そして10月早々には、出兵をにらんだ藩兵の編成が開始されたことや、土佐藩が幕府に大政奉還建白書を提出したことを考え合わせると、まさに倒幕に向けた龍馬の大勝負は成功したとい

えようかと思えます。

中城家の記録によりますと、龍馬は同家の離れで休息をしながら襖に張り合わされていた錦絵に見入っていたそうで、その後に旧知の人も集まって宴が開かれています。この

離れは今もなお、ご子孫のご尽力により当時のままで保存されています。現在当館では、龍馬が最後



中城家離れ

の帰郷で果たした歴史的役割の意義深さを次世代に紡ぐため、本年1月25日まで「龍馬最後の帰郷—坂本家と川島家・中城家—」展を開催しています。この企画展を機に、県民の皆様をはじめ、多くの方々に、龍馬最晩年の緊迫した歴史の内幕を知っていただければ幸いです。

高知県立坂本龍馬記念館QRコード



略 歴

氏 名 三浦 夏樹
職 業 高知県立坂本龍馬記念館 学芸員
1998(平成10年)年4月就職(25年目)
肩 書 チーフ(学芸担当)
年 齢 1972(昭和47)年 50歳
専門分野 近世末期(江戸時代末期)
担当企画展

「—龍馬の望まなかった戦争—戊辰戦争—」展
「薩長同盟を陰で支えた男たち」展
「吉田東洋」展
「維新十傑 —創造・行動・志—」展
「龍馬の知恵袋 福井藩」展

2010年NHK大河ドラマ特別展「龍馬伝」展企画委員(全国巡回展)

など多数

子どもたちがみつけた 桂浜の魅力

高知市立浦戸小学校
校長 藤田由紀子

本校の子どもたちの7割は校区外から通学しています。校区に住んでいなくても、6年間を過ごすこの浦戸地区や桂浜が子どもたちの故郷です。自分の故郷を誇れる子どもに育ててほしいと願い、地域を教材とした探究学習を実践しています。

今回は、5、6年生の探究学習をご紹介します。

今年の高学年は探究学習のなかで桂浜の魅力を探りました。

4月、高学年の子どもたちは、探究学習の課題を桂浜の観光振興策を考えることに設定しました。

当初、子どもたちは「桂浜といえば、龍馬像と水族館。あとは…?」という状態でした。遠足等で何度も来ているところなのに、桂浜について聞かれても答えられない自分たちを知るところからスタートしました。



それから何度か歩いて浜に行き、ゆっくりと散策しました。すると子どもたちは「海がきれい」「気持ちがいいね」「ほっとするね」「癒やされるね」「山の中の風も心地いいよ」といった自然の心地よさをつぶやくようになりました。そこで、自分たちがなぜ心地よく感じるのか探究することを決めて1学期を終えました。

9月、10月は海・植物・浜の3つの視点で桂浜の自然について専門家の先生方と学習をしました。

海は黒潮実感センターの神田優先生、浜を中心とした

地質は高知化石研究会会長の三本健二先生、そして、植物は高知大学名誉教授の石川慎吾先生に学びました。子



もたちは、「海の色が違うのはそこに生きているプランク



トンの量も関係していて土佐沖と浦戸湾では生息している生き物の種類が違うこと」「五色石は遠く面河溪から

ゆっくりと桂浜にたどり



着いたこと」「桂浜の小高い山は自然林で何百種類もの植物が生きていること」等たくさんのことを知りました。すると、今まで漠然と眺めていた桂浜の景色が色彩豊かな風景に見えるように

なったそうです。

海や川を通じて遠い地域とつながっていることや桂浜はコンパクトに海、山、浜辺があって、その地形や生態系がお互いに関連し合っていて心地よい風を吹かせていることに気が付きました。

そしてこのような生物多様性が見えることが桂浜の魅力であると子どもたちは結論付けました。

11月、12月(この原稿は12月に書いています)は学んだことをどのように発信していくかを考えました。そして、インスタグラムへの投稿とパンフレットによってお知らせすることになりました。

どうしたらみんなの目に留まるかなと試行錯誤を繰り返しています。

3学期に入ると、2月25日(土)は本校の学習発表会があります。今回ご紹介した高学年、地震津波への備えを考えている中学年。海ごみを拾ってきてアート作品をつくっている低学年とそれぞれに個性豊かな探究学習を発信してくれます。

【追記】

低学年が海ごみから作った作品とデハラノリュキさんとつくった海の妖精さんたちが12月23日から2月20日まで桂浜水族館に展示されています。

ホームページのアドレス

<https://www.kochinet.ed.jp/urado-e/>

または **高知市立浦戸小学校** で **検索**

facebook **高知市立浦戸小学校facebook** で **検索**

桂浜らしさを踏まえた修景事業

株式会社はりま家 代表取締役 千頭 一弘

明けましておめでとうございます。

私は株式会社はりま家代表の千頭一弘と申します。私は高知市南はりまや町で土産屋の長男として生まれました。子どもの頃の南はりまや町は、「浦戸町」という町名でしたので桂浜の浦戸には昔から親近感を抱いていました。

さて、2022年4月に私が代表を務める株式会社はりま家は、高知市より桂浜公園の指定管理者に任命され、桂浜公園の管理運営を行っておりますが、桂浜水族館関係者の皆様方には、日頃よりご理解とご協力を賜り感謝しております。

弊社の公園管理運営は、基本的に高知市の桂浜公園整備基本構想、桂浜公園整備基本計画の理念や計画に沿ったものであり、桂浜公園の貴重な自然・歴史を探訪し、学びや憩い、楽しみがあふれる公園を目指していきます。

2022年10月にプレオープンした商業エリア「桂浜 海のテラス」は、「食べる、買う、学ぶ、憩う」をテーマに飲食や物販、歴史文化学習の充実を図り、観光客だけでなく、県民、市民が日常的に訪れることのできる施設として活用していきます。

グランドオープンは2023年3月4日を予定しています。ちょうど、県内で開催される牧野博士の連続テレビ小説を活かした博覧会とスタート時期が重なることもあり、博覧会の周遊拠点とされる桂浜公園にとっては、多くの利用が見込まれるチャンスとなります。

さらには、これに合わせて高知市の誘客や周遊促進を図る観光資源の磨き上げ整備事業として高知灯台周辺及び椿の小径の整備事業が2023年秋頃に予定され、草花ガイドによる公園内を巡るサービスも予定されています。

高知市によるこれまでの再整備として、観光案内所、バス待合所、本浜休憩所、トイレ、サイン等の整備が実施されました。このように、高知市と指定管理者である弊社は、官民一

体となって、これまでも、これからも桂浜公園の活性化に向けた取り組みをして参ります。

ところで、この度の指定管理事業にあたり、私が大切に考えていることについてお話しさせていただきたいと思います。

それは、「桂浜らしさ」を踏まえた整備をしていくということです。私たちの記憶にある桂浜をどうしていくのか。過去と現在、そして未来をどうつなげていくのか。私の中では、「修景」という言葉がキーワードになっています。これは、公園整備について、近代的な再開発を行うということでもなく、古い物を凍結保存するということでもなく、新しいものを造ったり、並べ変えたりするけども、古く大切なものは整備して美しく保って使用していくという概念を指しています。そのため、有形・無形にかかわらず、昔から変わらない桂浜らしさを守り、それに調和した居心地の良さを追求する整備を「修景事業」として進めて参りたいと思います。

高知の観光は、桂浜を抜きには語れません。行政の代行者として責任感を持ち、桂浜の機能を高め、ブランド価値を向上させ、四国の観光のハブとなるよう地域発展に貢献して参りたいと思います。

皆様と共に重層性の有る懐が深い公園づくりに努めて参りたいと思いますので、今後共

よろしくお願い申し上げます。

桂浜公園QRコード



美人?館長のモノローグ

桂浜公園のリニューアルが始動した。商業エリア「海のテラス」は、令和の世にふさわしくホワイト基調のシュッとした雰囲気の様変わりした。2023年の春にはグランドオープンを迎え、一層もりあがると大いに期待している。

ここ桂浜は、高知県を代表する観光地でありながら影があった土地だ。昭和の昔は、こどもの国があり、展望台やヘルスセンターもあったそうだ。ここ浦戸にある桂浜は昔から「観光地」として君臨していたのだ。調べていくと、そのまた昔から続く「観光地」だった。そんな「観光地」の代表として長年の歴史をずっと見続けているこの浜辺に建つ桂浜水族館も今年92年となる。桂浜で一番古い歴史ある施設となった。

昭和の観光地桂浜を共に歩んだ同志たちは、今回の桂浜再開発によりここ桂浜の地からはすべて居なくなった。その昔、浜辺には商店が軒を連ね、共に水族館があった。穏やかな雰囲気を感じる昔の写真を眺めながら想像する。共に来浜するお客様をもてなそうとその時代にあった「おもてなし」を桂浜風にしていたのだ

KOUCHI
KATSURAHAMA
AQUARIUM
高知市浦戸(桂浜)
桂浜水族館 ☎(0888)41-2437



景勝桂浜



カツラハマのソテツ

ろう。そもそも地元浦戸の民が商いをしていたこともあり、いざこざがありつつも共に時代を歩んだのだろう。やがて昭和54年にあった桂浜再開発の際に当館と軒を連ねた売店群は現在の商業エリアに移転した。浜辺に残ったのは「桂浜水族館」だけになった。その後浦戸城跡のある山頂に「坂本龍馬記念館」が建った。桂浜に博物館施設が2つとなり、龍馬像との3拠点が観光の要になった。手元にある写真を時代毎に見ていくうえでわかるのはそこまで。影の部分は私にはわからない。わかったとこで過去の話である。しかしながら、その光

桂浜水族館館長
秋澤 志名



と影があり現在の桂浜が成り立っており以上は心のどこかで受け止めなくてはならない。そんな思いを抱きながらこれからの未来を考えなくてはならないのだ。私にできることは、何なのだろう。自問自答しながらも今回の桂浜公園再整備を迎えている。

桂浜に思い入れがある方が意外に多く、今回のリニューアルには大きな期待がかかっている。指定管理者にとってその期待は重く厳しいものではないかと感じているが、高知を代表する観光地桂浜を管理するという公約を取ったのだからぜひ頑張ってもらいたい。桂浜公園全体の発展、そしてこの公園のある浦戸の活性につながるように。行くはこの浦戸地域が観光地として町全体が「おもてなし」ができる取り組みができれば全国でも有数の観光地になるだろう。他を真似しては一番にはなれない。そう思い2015年から始めた当館の改革。賛否両論あれど、「全国人気水族館ランキング」で2年連続の1位。その昔は、どこの県にあるのかわからない。はたまた当館の存在すら知られていなかった。まずは知ってもらわなければならない。そしてマイナスの情報を打ち消さねばならない。マイナスをプラスに!そう言い聞かせ踏ん張ってきた。

多くの方々に支えられ今に至るが、「私にはしなくてはならないことがある」と思って7代目館長に就任をした日を思い出す。歴代桂浜の地で商いをしていた方々も様々な思いがあっただろう。しかし根底には「桂浜愛」があったと感じ取れる。悪といわれた者にも。今は亡き先人たちの思い「桂浜愛」を絶やしてはならない。私は一施設の館長という施設の長という立場だが、桂浜水族館の発展はもちろんのこと、桂浜という場所を守り、発展させねばならないと思っている。92年もの間、共に過ごしたこの場所を感謝と共に守り育てることが桂浜水族館がすべきことではないだろうか。8年後の2031年には、三重防護堤防が完成する予定だ。桂浜

一帯がまた変貌するであろう。浜辺の形状も変化し、様々なことが変わりながら未来へと進みだす。見えない明日であるが、桂浜に係る者たちが歴代貫いた「桂浜愛」は消えない。「秋澤死すとも桂浜愛は死せず」だ。

実際には、生まれてからずっと桂浜を見てきたが、私



ちいちゃん館長

がここに携るようになって18年。長いようで短い。来浜客のためにと
いろいろな提案をしてきたが、まだまだ実現していない

ことが多い。山頂と浜の動線、起伏のある公園を楽しみながら移動してもらいたい。桂浜の自然を体験しながらのツーリズム。漁村の活用。地域雇用など。やっ

動き出したのは、桂浜灯台の活用、船上移動、施設と商業エリアの一体化。少なからずも動き出した桂浜の次世代。

声を止めてはいけないと先人たちの天からの声が聞こえる。桂浜水族館も次のステップへと動き出した。私たちにはどんな未来が待っているのだろうか。

話変わって笑い話にもなるのだが、先日とある協会に「日本一美人の館長がいる水族館」だと紹介してもらったところエビデンスがないと却下された。確かにと
うなずけた。よってこのタイトルの「美人?館長」というのも変更しようと思う。決してすねているわけではない。私自身も次のステップに進むべき時期に差し掛かっている。美人だなんだと言ってる場合ではない。エンタメは若い者に任せ、しまかに誠実に確実に道を歩む2023年にしようと思う。ネクストチャレンジだ!!

旧館施設と現在の施設、そして将来は?

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えて桂浜公園もリニューアルに向けて動いています。私は昭和50年(1975)に高知大学を卒業し、桂浜水族館に就職、48年の勤務となります。もう1つ、水族館創設が昭和6年(1931)ですから水族館が20歳の年にこの世に生を受けたということでもわかりやすいことこの上ないですね。お互いよく持ったものです。



リニューアル当初の外観



若かりし頃の丸林さん

さて、今回、リニューアルというお題を受けて執筆させていただくことになりました。私が経験したリニューアルは昭和59年(1984)の黒潮博覧会開催にともなうもので、それまでの“海の家”的な小規模な施設(これはこれですばらしい!)からの脱却で本格的な建造物となりました。当時の飼育員はチーフ

の高谷、そして私、アカメの堀内、アルバイトの盛田の4名でした。日々の作業が夜遅くまで続き、後にがんを患い死去する堀内は毎

桂浜水族館 学芸員
丸林 友文



日釣りなどで魚を集め、大きな容器に魚を入れ、ヒーヒーいいながら運ぶ姿が目には浮かびます。私は魚名解説プレートの製作に明け暮れ、説明文にも四苦八苦でした。ある時、私と堀内と盛田が冗談交じりで談笑していたところ唯一の土佐人である堀内の言葉がおもしろおかしくて、いっそのこと、土佐弁で解説したらどうかということになりました。「いごっそうオヤジの珍解説」誕生秘話です。高谷大将が採集方法(生態)と食べ方を中心にしたものにしようということになり、全国的にも知られるものとなったのです。

こうして太地からクジラ(オキゴンドウ)2頭を迎えて華々しくオープンし、紆余曲折を経ながら現在に至っています。

さて、次のリニューアルも目前でしょう。私は前のリニューアル前に当時の館長永國寿一(ちいちゃん)の言った「自然の風や光をとりこんだ冷暖房要らずの施設にしたい」という言葉が今でも焼き付いています。まさに旧館そのものを表しています。



編集後記

今号は皆さま方のご寄稿ご協力により発行となりました。ありがとうございます。

2023年度前期 連続テレビ小説『らんまん』放映に伴い高知県観光博覧会 「牧野博士の新休日」を開催。「観光の起爆剤に」知事 県外客460万人を目指す。らんまんは本県出身の牧野富太郎がモデルとなっており、濱田知事は「本県観光への大きな追い風になる」と意気込んだ。

桂浜・坂本龍馬記念館では「龍馬最後の帰郷ー坂本家と川島家・中城家ー」展

倒幕に向けた 龍馬の大勝負が開催されている。吉村館長にご寄稿をお願いしたところ、学芸員チーフ三浦夏樹氏より企画展を寄稿いただいた。龍馬の極めて慎重かつ大胆な決断力の一面を知ることとなる。

『おわりに 龍馬は帰郷時中城家に入って休息した。・・・中城家は、少年期の龍馬が船への憧れを強く持ったであろう場所であり、最後の帰郷にも関わる場所であるため、史跡に指定されて修復・保存がなされるに値すると考えられ、そう願っている。』とあり、編者もそう思う。企画展は1月25日まで開催。

浦戸と言えば、浦戸小学校・藤田由紀子校長の教育方針に基づき人材育成・実学教育が行われている。

「子どもたちがみつけた桂浜の魅力」・・・桂浜はコンパクトに海、山、浜辺があって、生物多様性が見えることが桂浜の魅力であると。子どもたちが結論付けた。関係者は大いに学ぶべきことでないだろうか。

美人?館長のモノローグ コロナ禍にロシアウクライナに軍事侵攻により世の中が大きく変化している。この難局を乗り越える新たな取り組みに挑戦、その心構えは「しまかに誠実に確実に道を歩む2023年にしようと思う。ネクストチャレンジだ!!!」

学芸員 丸林 友文氏には「旧館施設と現在の施設、そして将来は?」リニューアル前の永国寿一館長は言った。「自然の風や光をとりこんだ冷暖房要らずの施設にしたい」という言葉が今でも焼き付いています。

桂浜の商業施設一新 「桂浜、海のテラス」完成 飲食などグランドオープン始まる。

今号は新たな取り組みとして各寄稿者のQRコード・ホームページ等を掲載いたしました。

編集・校正・印刷は高知新聞総合印刷のご協力をいただき発行となりました。ありがとうございます。

2022年の漢字一文字は「戦」であった。2023年は世界平和を願い「和」とありたい。

2023年元旦 なかた まさし

桂浜たよりVol.14

2023年1月発行(年2回1月8月発行) ♥森の中の高知駅♥ HP <http://mori-kochi-eki.jimdo.com/>(バックナンバー掲載)

発行/桂浜を守り育てる会(桂浜水族館応援団) 公益社団法人 桂浜水族館内

Tel/088-841-2137 Fax/088-841-2451 編集・印刷/(株)高知新聞総合印刷